平成24年度　広島県合同輸血療法研修会

平成24年度　厚生労働省
血液製剤使用適正化方策調査研究事業

「輸血療法に関するアンケート」調査
報　告

広島大学　大学院医歯薬保健学研究院　疫学・疾病制御学
田中　純子

平成２５年２月２日（土）広島県情報プラザ　多目的ホール

目　的

広島県の医療機関における輸血療法の現状と実態を把握するための医療機関を対象とした調査

平成24年度　厚生労働省　**血液製剤使用適正化方策調査研究事業**　によるこの調査は、広島県合同輸血療法委員会が実施主体となり行った。

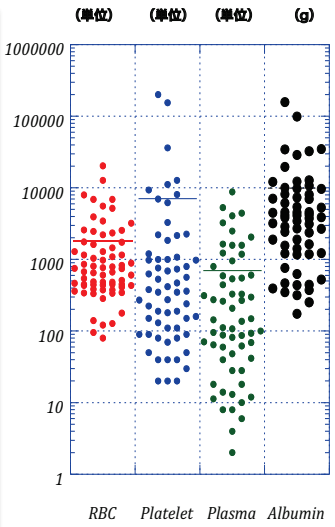
調査方法

○調査対象者
広島県血液センターにおける、 H22, H23いずれかの年度に輸血用血液製剤供給実績上位75以内の医療機関 75+7　　合計82施設

○調査時期
2012年11月14日～ 2012年11月29日

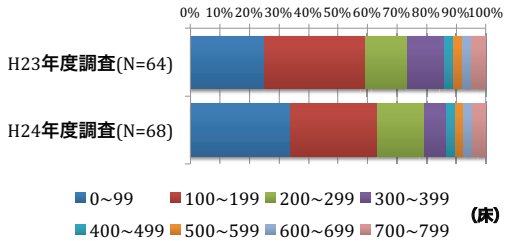
○調査方法
郵送により配布・回収。
記名自記式調査　（集計結果は匿名化）
回収数　　68/82　(2013/2/1現在)
回収率　　82.9%
（H23度調査：85.3%　64/75施設中）

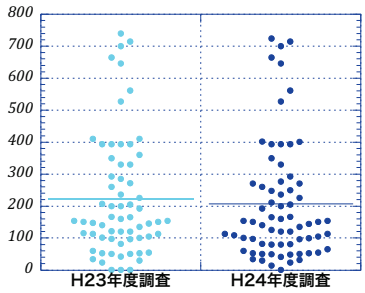
○調査・解析について：
広島大学疫学研究倫理審査　承認



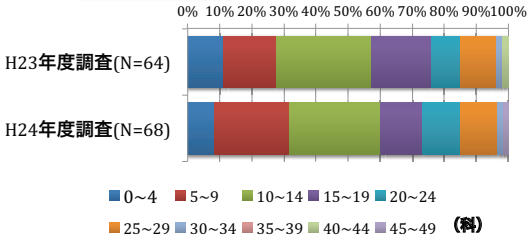
H23年度・H24年度調査の解析対象施設

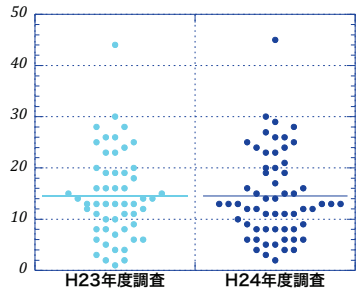
一般病床数



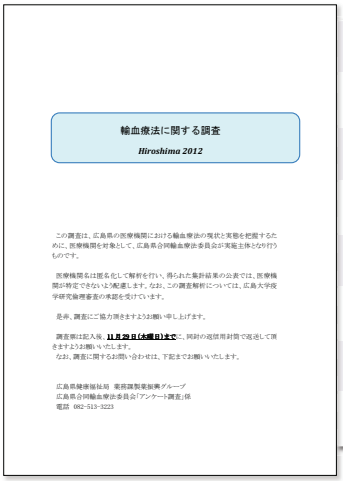


診療科数





調査項目　8分野



輸血療法に関する調査

Hiroshima 2012

この調査は、広島県の医療機関における輸血療法の現状と実態を把握するために、医療機関を対象として、広島県合同輸血療法委員会が実施主体となり行うものです。

医療機関名は匿名化して解析を行い、得られた集計結果の公表では、医療機関が特定できないよう配慮します。なお、この調査解析については、広島大学疫学研究倫理審査の承認を受けています。

是非、調査にご協力頂きますようお願い申し上げます。

調査票は記入後、**11月29日(木曜日)まで**に、同封の返信用封筒で返送して頂きますようお願いいたします。
なお、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

広島県健康福祉局　薬務課製薬振興グループ
広島県合同輸血療法委員会「アンケート調査」係
電話　082-513-3223

1. 貴院の概要について	4
2. 「輸血療法委員会」について	2 (+5)
3. 現時点の輸血の管理体制について	4
4. 輸血管理料について	2 (+2)
5. 血液製剤の使用について	9 (+6)
6. 遡及調査について	4 (+1)
7. 緊急時の輸血について	4 (+1)
8. 宗教的輸血忌避患者への対応について	2

大分類　31項目

今年度、新たに加わった項目：4項目
1．（4）輸血管理料　輸血適正使用料
2．（5）平成23年12月の血液製剤使用量、実患者数
3．（5）血液製剤の使用に関する記録の保存の有無
4．（6）輸血に使用した使用済みバックの保存について

平成24年度　厚生労働省
血液製剤使用適正化方策調査研究事業

「輸血療法に関するアンケート」調査
報　告

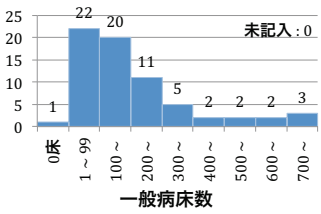
集計結果

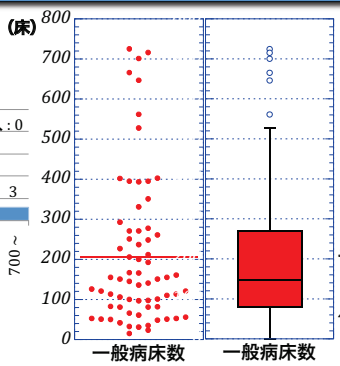
68施設の状況

1．医療機関の概要について

N=68

貴院の病床数は？

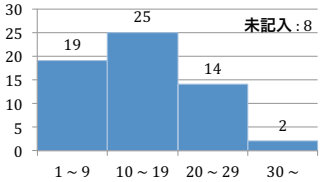


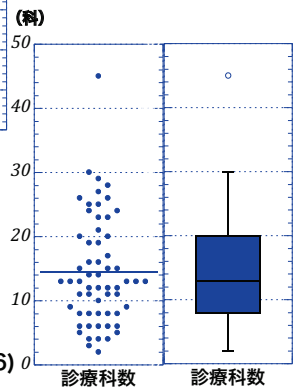


平均：
206.3±184.9床

(平成23年度 230.5床)

貴院の診療科数は？





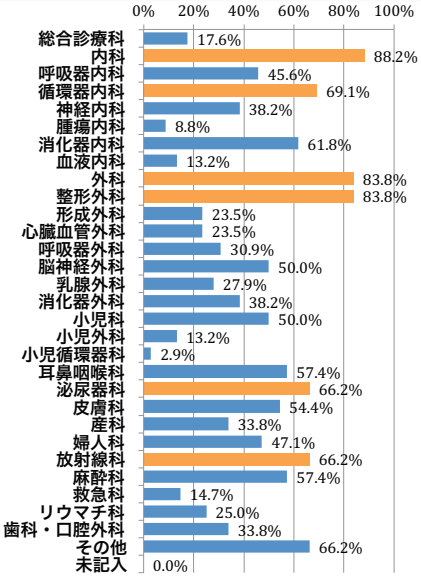
平均：
14.5±8.5科

(平成23年度 14.6)

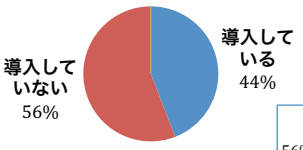
1．医療機関の概要について

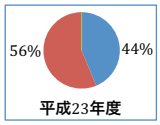
N=68

貴院の診療科は



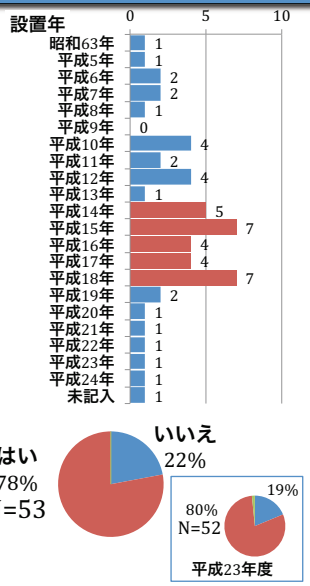
DPC（診断群分類包括評価）を導入していますか。



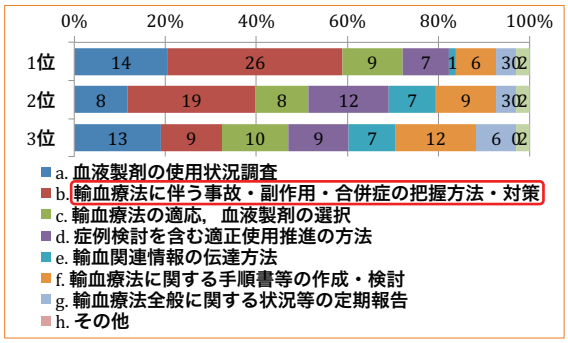


2.　「輸血療法委員会」について　N=68

「輸血療法委員会」は設置していますか

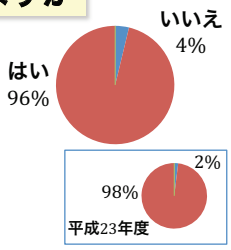


「輸血療法委員会」の果たす機能は

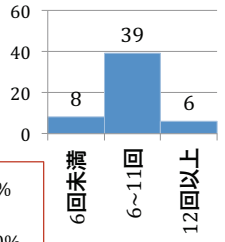


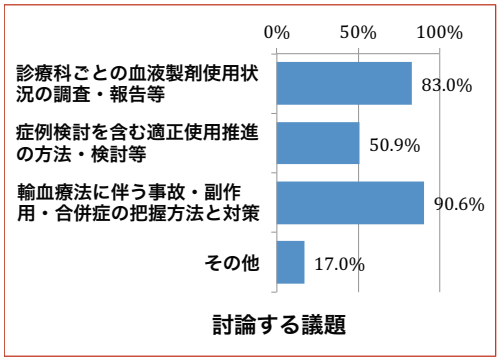
2.　「輸血療法委員会」について　設置している　N=53

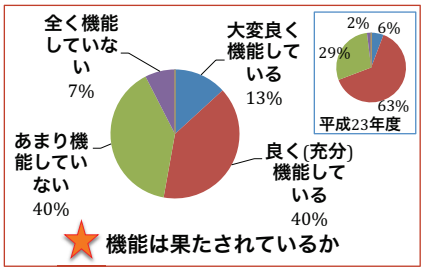
「輸血療法委員会」の規定・規約を作成していますか

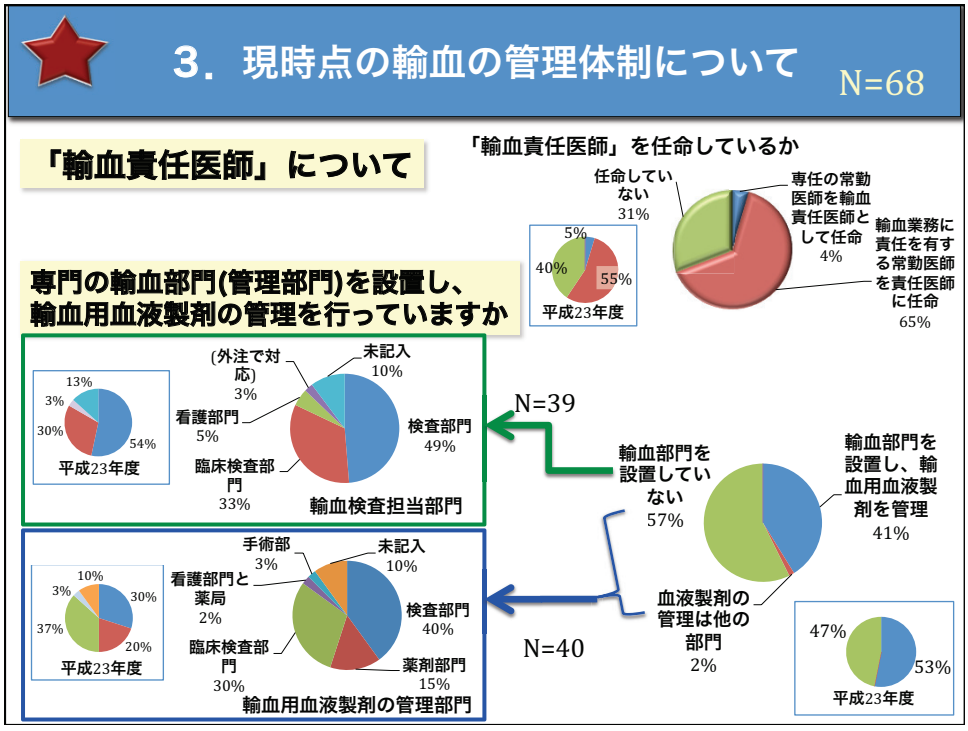


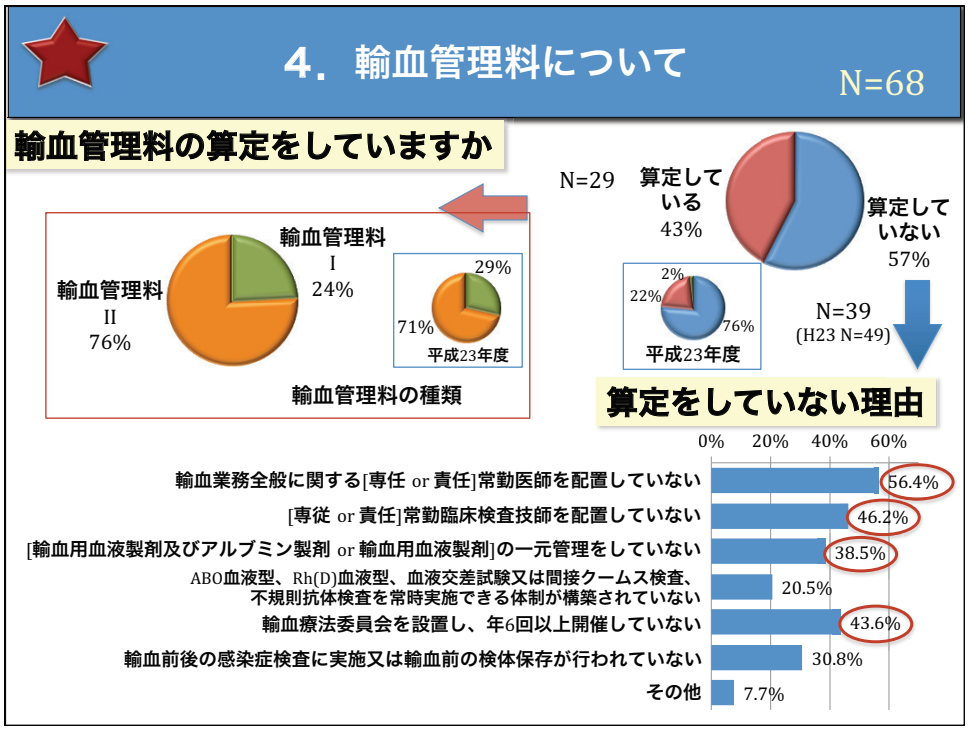
「輸血療法委員会」は年間、何回開催していますか





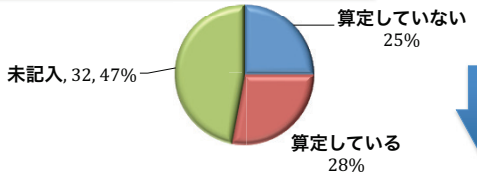



3．現時点の輸血の管理体制について
N=68
「輸血責任医師」について
「輸血責任医師」を任命しているか
任命していない 31%
専任の常勤医師を輸血責任医師として任命 4%
輸血業務に責任を有する常勤医師を責任医師に任命 65%
5%
40%
55%
平成23年度
専門の輸血部門(管理部門)を設置し、輸血用血液製剤の管理を行っていますか
13%
3%
30%
54%
平成23年度
(外注で対応) 3%
未記入 10%
看護部門 5%
検査部門 49%
臨床検査部門 33%
輸血検査担当部門
N=39
輸血部門を設置していない 57%
輸血部門を設置し、輸血用血液製剤を管理 41%
血液製剤の管理は他の部門 2%
47%
53%
平成23年度
10%
3%
30%
37%
20%
平成23年度
手術部 3%
未記入 10%
看護部門と薬局 2%
検査部門 40%
臨床検査部門 30%
薬剤部門 15%
輸血用血液製剤の管理部門
N=40


4．輸血管理料について
N=68
輸血管理料の算定をしていますか
N=29
算定している 43%
算定していない 57%
輸血管理料 I 24%
輸血管理料 II 76%
29%
71%
平成23年度
輸血管理料の種類
2%
22%
76%
平成23年度
N=39
(H23 N=49)
算定をしていない理由
0%
20%
40%
60%
輸血業務全般に関する[専任 or 責任]常勤医師を配置していない 56.4%
[専従 or 責任]常勤臨床検査技師を配置していない 46.2%
[輸血用血液製剤及びアルブミン製剤 or 輸血用血液製剤]の一元管理をしていない 38.5%
ABO血液型、Rh(D)血液型、血液交差試験又は間接クームス検査、不規則抗体検査を常時実施できる体制が構築されていない 20.5%
輸血療法委員会を設置し、年6回以上開催していない 43.6%
輸血前後の感染症検査に実施又は輸血前の検体保存が行われていない 30.8%
その他 7.7%

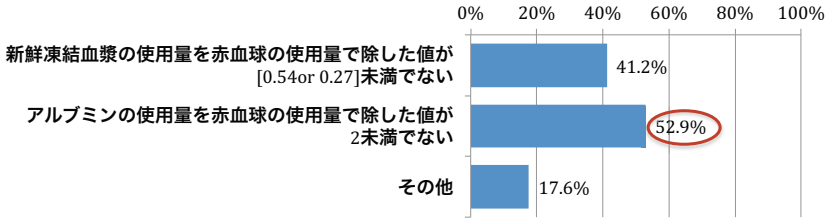
4．輸血管理料について　新規設問　N=68

輸血適正使用加算も算定していますか



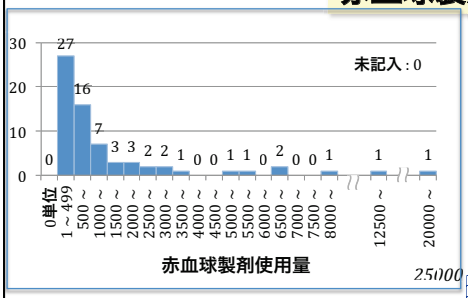
N=17

算定をしていない理由

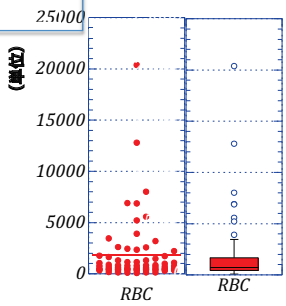


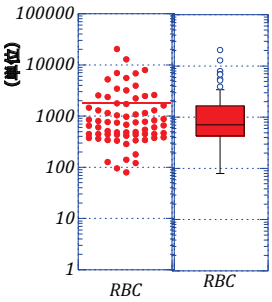
5．血液製剤の使用について
平成23年（又は平成23年度）の血液製剤の使用量　N=68

赤血球製剤の使用量



平均：1,809±3,168（単位）/施設
中央値：711.5【433-1707】



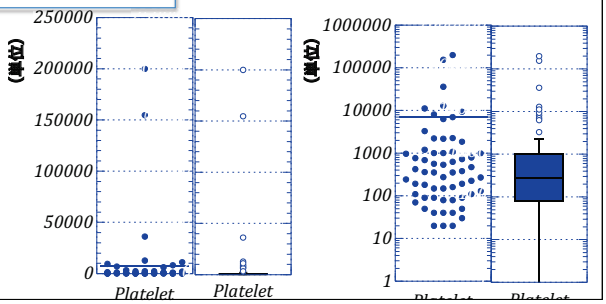


5．血液製剤の使用について

平成23年（又は平成23年度）の血液製剤の使用量　N=68

血小板製剤の使用量

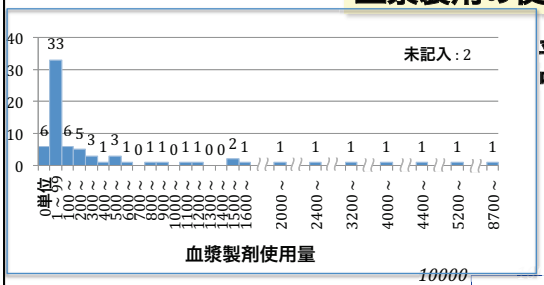
平均：7,067±30755（単位）/施設
中央値：275【80-1000】）



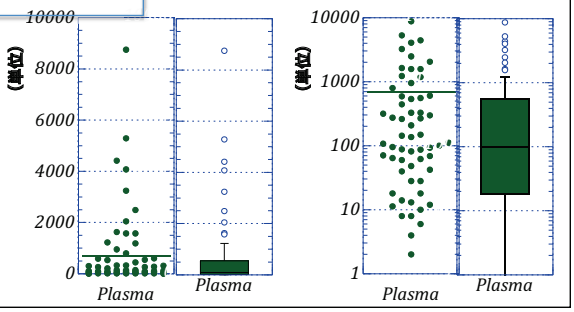
5．血液製剤の使用について

平成23年（又は平成23年度）の血液製剤の使用量

血漿製剤の使用量



平均：698±1486（単位）
中央値：98【17-563】



（1単位：120mL)換算